

競技順序

11月3日(火・文化の日)

監督会議 8:15

トラック競技							跳躍競技						
NO	種別	種 目	ラウンド	時刻	組	人数	NO	種別	種 目	ラウンド	時刻	人数	備考
1	混成5年 女子	80mH		9:30	3	20	1	混成 5年 女子	走幅跳		11:00	20	Bピット
2	混成5年 男子	80mH		9:40	4	27	2	混成 6年 女子	走幅跳		11:00	26	Aピット
3	混成6年 女子	80mH		10:05	4	26	3	混成 5年 男子	走幅跳		13:40	27	Bピット
4	混成6年 男子	80mH		10:20	6	41	4	混成 6年 男子	走幅跳		13:40	41	Aピット
5	チャレンジ 一般・高校 男子	1500m	決勝	10:50		9							
6	3年 女子	80m	タイムレース 決勝	11:05 11:20	1－5 6－10	75							
7	3年 男子	80m	タイムレース 決勝	11:35 11:50	1－5 6－9	69							
8	チャレンジ 一般 女子	100m	決勝	12:10		4							
9	チャレンジ 高校・中学 女子	100m	決勝	12:15		4							
10	チャレンジ 一般 男子	100m	決勝	12:20		5							
11	チャレンジ 高校 男子	100m	タイムレース 決勝	12:25	2	9							
12	チャレンジ 中学 男子	100m	決勝	12:30		4							
13	チャレンジ ダウン症 男子	100m	決勝	12:35		1							
14	2年 女子	60m	タイムレース 決勝	12:45	5	40							
15	2年 男子	60m	タイムレース 決勝	13:00 13:15	1-5 6-8	58	NO	種別	種 目	ラウンド	時刻	人数	備考
16	1年 女子	60m	タイムレース 決勝	13:25	3	22	1	チャレンジ ダウン症 男子	砲丸投	決勝	9:30	1	
17	1年 男子	60m	タイムレース 決勝	13:35	3	24	2	チャレンジ 女子	砲丸投	決勝	9:30	1	
18	チャレンジ 一般・高校 男女	400m	決勝	13:50		4	3	混成 5年 男子	ジャベリック ボール投		11:20	27	
19	チャレンジ 一般 女子	200m	決勝	14:00		2	4	混成 6年 男子	ジャベリック ボール投		11:20	41	
20	チャレンジ 一般・中学 男子	200m	決勝	14:05		3	5	混成 5年 女子	ジャベリック ボール投		13:50	20	
21	女子 共通	4 × 50mR	タイムレース 決勝	14:30	3	22	6	混成 6年 女子	ジャベリック ボール投		13:50	26	
22	男子 共通	4 × 50mR	タイムレース 決勝	14:50	3	24							
23	チャレンジ 男女	4 × 100mR	決勝	15:10		5							

競 技 注 意 事 項

- 1 本大会は、２０２６年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会要項により実施する。また、チャレンジアスリート記録会は、上記に加え全国障害者スポーツ大会競技規則も参考に実施する。

2 招集について

競技者は必ず、招集所（１００ｍスタート側避難タワー下）でコールを済ませた後、その場で待機すること。コールに遅れたものは欠場とみなし、競技に出場できない。

競 技 種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始３０分前	競技開始１５分前
フィールド競技	競技開始４０分前	競技開始３０分前

※ ただし、混成競技においては、２種目目以降（走幅跳、ジャベリックボール投）は、競技開始４０分前までにそれぞれの競技場所に集合すること。

3 競技は次の要領で行う。

- （１）スタートの合図はイングリッシュコールとし、小学生は同一人が２回不正スタートをした場合に失格とするが、オープンとして走らせる。チャレンジアスリートは、一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格とするが、オープンとして走らせる。
- （２）混成競技の８０ｍハードルで同一人が２回不正スタートし、オープン参加となった場合の得点は０点とする。
- （３）小学１・２・３年生のスタート方法はスタンディングスタートとする。スタンディングスタートの形については特に規定しないが、スタートラインに立った状態から、「セット」で静止できればよいものとする。スターティングブロックは使用しない。
- （４）チャレンジアスリート及び混成競技８０ｍハードルのスタートはクラウチングスタートを原則とするが、慣れていない場合はスタンディングスタートでもよい。その場合、スターティングブロックは使用しても使用しなくてもよい。
- （５）混成競技の８０ｍハードルは高さ６０ｃｍ、台数９台で実施する。インターバル等の規定は、下記の通りとする。

学年	スタートから第１ハードル	インターバル	最終ハードルからゴール
５年	１３ｍ	６．５ｍ	１５ｍ
６年	１３ｍ	７ｍ	１１ｍ

(6) 混成競技のジャベリックボール投は、主催者が用意したジャベリックボールを使用する。

競技は、やり投ピットを使用し助走距離は15m以内とする。

(7) 混成競技の走幅跳とジャベリックボール投は2回の試技とする。

(8) 混成競技の種目は下記の順で実施する。

男子 ①80mハードル ②ジャベリックボール投 ③走幅跳

女子 ①80mハードル ②走幅跳 ③ジャベリックボール投

(9) チャレンジアスリートの砲丸投は6回試技とする。

(10) リレーは、リレーオーダー用紙を当該種目招集完了時刻1時間前までに競技者係に提出すること。オーダー用紙は招集所に用意する。出場するメンバーのうち、少なくとも2人は、リレーに申し込んだ競技者でなければならない。選手に何組・何走を走るのかをしっかりと覚えさせておくこと。

(11) 4×50mリレーは、第3コーナーの200mスタート地点からスタートし、テイクオーバーゾーンは使用しない。2、3、4走者の待機位置は、次の通りとする。

2走：スタートから50m地点 3走：スタートから100m地点

4走：スタートから150m地点

4 スパイクシューズのピンは9mm以下を使用すること。

5 競技者の競技場への入退場は、競技役員の指示・誘導による。

6 かけっこ、混成競技の表彰は次の通りする。

(1) かけっこは各種目6位までの入賞者に賞状を授与する。

(2) 混成競技は学年別に表彰する。優勝者に、トレジャーアスリート賞、3位までの入賞者にメダルと賞状、6位までの入賞者に賞状を授与する。

ゴミの持ち帰りの徹底を各クラブにてお願いいたします。
